

### 神奈川県本部

〒231-0025 横浜市中区松影町2-7-12飯田ビル  
TEL: 045-663-4061 FAX: 045-663-4062  
メール: nenkinkanagawa@nifty.com

3月14日現勢 組合員 8,275名  
機関紙 5,116部  
年金改善署名 43,713筆 07.7署名 6,931筆

# 年金者しんぶん

神奈川県版 第231号 2008年3月20日

全日本年金者組合中央本部

〒170-0005 東京都豊島区南大塚1-60-20協立第3ビル  
TEL: 03(5978)2751 FAX: 03(5978)2777  
発行人 篠塚多助 月刊1部100円 送料70円  
昭和57年6月30日第3種郵便物認可



## 高齢者が生き抜くために 明るく楽しく運動も大きく

### 全県支部活動交流集会

3月4日、5日の2日間、箱根町湯元で神奈川県本部の全県支部活動交流集会が開かれ、中央本部篠塚多助執行委員長、県本部役員全員、県下39支部中37支部の委員長、書記長など70人、合計104人が集まってこの春の月間で9000人の県本部をめざす討議が行われました。

神奈川県本部の組織人員は現在8279人で全国2番目。しかし1999年に比べての伸び率は、2007年に高齢者比1%を達成した埼玉県の2.53倍、千葉県の2.55倍、東京都の1.70倍に比べ、神奈川県は1.68倍と首都圏では最低を記録しています。2007年秋の仲間づくり月間では、263人の仲間を迎えましたが87人の減員もあって結果は176人にとどまり、9000人目標は達成できませんでした。さらに組織点検の結果、小田原、鶴見支部などで大幅な減員もあり、仲間づくりは停滞しました。

消えた年金の解決、最低保障年金制度の実現、後期高齢者医療制度の中止・撤廃と、年金生活者の生死にかかわる運動で、組織の停滞は許せません。交流集会ではこの春の仲間づくりで県本部9000人の組織づくりを必ず成功させようと、全体会議と6つの分設

## 支部なみの分会組織 機関紙も5つの相模原支部

相模原市は政令都市への移行を進める広大な地域で、そこに500人以上の支部を組織しています。緻密な活動を行うために100人程度の5つの分会を設け、北分会では正・副分会長、事務局長、財政、文化、署名、リサイクル、機関紙を担当する複数の役員を配置し、分会独自を含め、支部と同様の組織活動を行っています。

分会の財政は支部が年間1人4500円を配分。ほかに2分会にリサイクル部があって、個々の組合員宅を訪問して資源回収を行い、組合員の結びつきと財政の両面でプラスになっています。組合費は分会集金担当者が集金、分会を通して支部に集約されます。パン

## 機関紙配布の整備で再建 260人を減らした小田原地方支部

586人の小田原地方支部は260人減となりました。3月までに頑張った350人に回復しました。なぜこんなにか減ったのか。1つは2市8町というあまりにも広大な地域で手が回らない。特に小田原、南足

## ブロックが活動の基礎 何でも楽しむ30のサークル

平塚

平塚支部は組合員583人の大きな支部です。組合員一人一人が組合行事などに参加してもらうために、地域を活動の基礎として8ブロックに分け、担当の執行委員

組合員とのつながりの原点になっています。ブロックは単に連絡網の単位ではなく、組織化の単位として変えていき、絶えず新しい協力者を増やしています。またブロックとサークルの活動の連携を密にしています。

財政は組織も大きく、広告収入もあって、滞りによる影響があまり出ない。県本部などの役員、行事参加も組織人員が多いのでそこそここなせました。

## 悪政を断ち切るために 神奈川県9千人の組織を

神奈川県本部委員長 田島 茂

組合員の皆さん今日は。県本部は3月4日5日、全県支部活動交流集会を開催しました。この交流会の目的は、高齢者・庶民に次々と負担を負わせ、格差と貧困を拡大する悪政を押しとどめ、高齢者の要求を実現するために全国の仲間の運動と連帯し、9000人の県本部を

なんとしても実現する。その意思統一をはかることもありました。交流集会は中央本部、県本部の魅力のある組織、人生最後の貴重な出会いの場など、その存在意義が印象に残ったとの声が多く聞かれました。サークルを楽しく持続させ、地域組織に根付かせる努力。多くの課題に追われ、支部の独自テーマが未消化にな

の報告・提起と平塚、相模原、小田原の各支部の特別報告を受け、5時間余の分散交流を行いました。年金者組合は数々の成果を上げ高齢者には唯一最高の拠り所、個性あふれる十分でした。しかし、討論の中に、そのヒントは提示されており、これからの運動にかかっています。交流は参加者の問題意識に十分こたえ9000人の県本部建設に、前向きで積極的な意思統一が図れたと思っています。あなたもこの事業に力をお貸しください。1人でも多くの仲間の協力が9000人拡大成功のカギを握っています。



なんとしても実現する。その意思統一をはかることもありました。交流集会は中央本部、県本部

半年かけて組織の体を明らかにし、再建の一步として機関紙配布ルートの確立に取り組みました。支部全体で30ブロックに分け、一人一人に帯封をつけて配布することになりました。これで物故者や移住者などにも配達していたことも分かり、組織整備がすすみました。サークルもハイキングクラブができ、楽しみ7分、課題3分と仲間の参加も再び増え始めています。







# 高齢者のよりどころは唯一年金



全体会議も熱心に

中央本部の篠塚委員長の「年金者組合は人生の最終的組織」が印象深かった人や、3支部の報告から大きな支部の苦勞、特に平塚のサークル運営への配慮や、相模原の分会組織体制のあり方は好評でした。

小田原の大幅な組織後退については、大なり小なり抱えている支部が多く、名簿整理や確認をしたところ、長期組合費滞納者が判明した支部も少なくない。地域・支部を越えた行事やサークル活動で、人と人のつながりを重視した取り組みや、麻生支部では女性の会が出来て組合員が増えました。また全組合員に組合費の運用目的や内訳を知らせるなど、行き届いた支部もありました。問題として役員の高齢化に伴う世代交代や、女性の会の有無、女性役員数の差が支部活動の差に重なっています。9000人の県本部達成のために、

## 第2分散会

### 温かい心づかい

飯島明子

程度の収入を確保、機関紙に1枠5000円の広告

15支部から17人が出席しました。各支部共サークル活動に参加すること、組合員の顔が見えるようになると取り組みの大切さが強調されました。川崎中原では自宅を開放しながらつながりを持っている。保土ヶ谷では男性の料理教室が人気で参加する人も多いため紹介されました。愛川支部ではサークルに参加する足が不自由な人を車で送迎し、温かい心づかいが組合に対する近親と信頼感と呼んでいます。

一方どのようにサー

ました。

## ◆ 集会に参加して ◆

新しい幹部、世話役を作らなければならぬ。ここ10年の60代の活動が重要だと思つた。サークルの1つの責任者でも大変だが、専門部運営もおろそかに出来ず、信頼される人間関係を広げて、99%の未組織の中に飛び出していききたいと思う。

茅ヶ崎 藤田寛代子

## 3月現在の組合員数

支部	組合員		合計	99年人口中央基準比
	男性	女性		
鶴見	106	81	187	0.55
神奈川	146	112	258	0.60
港北	145	163	308	0.90
横浜北	88	69	157	0.31
横浜中	12	10	22	0.11
磯子	70	95	165	0.69
港南	124	161	285	1.08
横浜みなみ	99	150	249	0.76
金沢	74	55	129	0.46
保土ヶ谷	83	85	168	0.60
旭	114	179	293	0.86
瀬谷	53	60	113	0.71
横浜栄	52	32	84	0.59
横浜泉	68	102	170	0.96
戸塚	116	140	256	0.90
川崎みなみ	216	161	377	1.31
川崎幸	106	75	181	0.95
川崎中原	113	111	224	0.99
川崎高津	88	149	237	1.37
川崎宮前	47	30	77	0.47
川崎多摩	178	249	427	2.28
川崎麻生	53	67	120	0.71
横須賀	138	167	305	0.45
三浦	15	38	53	0.56
逗子葉山	31	46	77	0.44
鎌倉	90	95	185	0.55
藤沢	74	48	122	0.24
茅ヶ崎寒川	112	97	209	0.61
大和綾瀬	51	27	78	0.25
相模原	253	267	520	0.87
座間	55	21	76	0.64
海老名	47	38	85	0.76
津久井郡	53	36	89	0.87
厚木	178	324	502	2.37
愛川	88	162	250	5.80
伊勢原	51	62	123	1.21
秦野	83	102	185	0.94
平塚	235	348	583	1.34
小田原地方	168	182	350	0.55
合計	3873	4396	8279	0.78

## 99%未組織の中へ飛び出す

篠塚中央本部委員長の話がすごく良かった。日からウロコ。拡大は量を増やすことだが、それに伴って集金、機関紙配達、班の活動、サークル充実など、質を高めていかないと崩れるというところも良くわかった。年金者組合は常に

新しい幹部、世話

役を作らなければ

## 気軽な声かけで仲間を増やしましょう

県本部副委員長 松川千恵子

いよいよ春の仲間増やしが始まります。これに先立ち3月4、5日に行われた全支部交流集会では、細かな討論が6分散会に分かれて行われ、支部の悩み、智

慧、教訓、希望、決意などが報告されました。その中で女性の会の元気が支部を活性化しているとの報告もあります。人生のさまざまながらみを潜り抜け、自分自

身の人生を歩き始める高齢女性は、楽しく共に過ごせる仲間を求めています。気軽な声かけで、一人ぼっちをなくし、その要求に応える楽しいサークル活動は女性の会の使命であり、仲間を増やし活動と一体のものです。女性のみならず、この春ますます元気にサークル活動を活発にして、月

間目標達成に全力をあげましょう。男性のみならず、いまや男女混合のサークルも広がり、盛んになっています。「女性に任せておけない」の心意気で一緒にがんばりましょう。共に頑張り、9千人の県本部を達成し、卑劣な高齢者いじめを粉砕していきましょう。



減るのは必然で、温かい気配りで減らさぬ運動も重視する必要があります。平塚では脱会者を出さないように医療生協とタイアップして健康チェックを行ない好評です。

## 第5分散会

### 集団の中の個人責任制



12支部17人が出席。「組合員も増え、集会、花見でも人は集まり」「何をやっても楽しかった」と語る小田原の女性の会会長から、「260人も減った」という話に「信じられない」とため息まじりの衝撃が部屋を走りまわりました。「誰も減るなんて思ってもいなかった」には2度ビックリ、集団

の中の個人責任制、透明性の初歩的問題の大切さを学びました。「第1世代の交代期に入っている」との議論に「勇気ある退任」「若手の拡大と登用」「楽しく、サークル、特技ある者の役員登用」などが語られました。(杉沢隆宣)

支部での役員の手が足りない。若返りをどうすれば出来るのか。変りが出てこない。今の役員会の中での団結にも苦勞しているなど役員体制の悩みも出されました。戸塚では若返りのために任期途中でも役員に入ってもらっています。

事が必要で、事務をしっかりと学習し、閉結の重要性がよく学べられました。田島委員長の「なぜこうなったのか」の提起が重く受けとめられ小田原と似た状況が自分たちの支部にもある。早く小さいうちに正す事が大切です。



### 後期高齢者医療制度

# 野党4党が中止・撤回を要求

## 3月26日 国会行動神奈川デー

2月28日に野党4党は共同で、4月実施予定の後期高齢者医療制度を廃止する法案を衆議院に提出しました。法案は後期高齢者医療制度の廃止、70歳から74歳までの医療費窓口負担引き上げの廃止、年金からの保険料天引きの中止などを盛り込んでいます。

3月4～5日の神奈川県全支部交流集会でも特別決議を行い、この運動の強化を決議しました。3月26日は国会行動

世界に例のない差別医療制度をやめさせようと、野党4党が共同で法案を提出したのは画期的な事です。

3月5日には「4野党共同の緊急集会」が衆議院会館で開かれ、民主党、日本共産党、

社民党、国民新党の国会議員、高齢者、医療団体の代表者200人以上が参加。大きな怒りと制度廃止に向けた決意を固めました。

法案提出は、しんぶん赤旗のほかはほとんど報道されませんが、大垣市議会でも自民党市議員団が「高齢者に大きな負担増を強い、生存権を脅かす暴挙」だとして、制度廃止を求める意見書が公明党の反対を除く全会派の賛成で可決されました。

現在512自治体と全国自治体の27.5%が反対決議をしています。

## 中央本部が厚労省へ年金4項目を要求

3月14日、中央本部、近県代表が厚生労働省と年金問題で話し合いを行い、全日本年金者組合として次の要求を提出し、文書で厚労省に求めました。

- ①最低保障年金制度を一日も早く実現すること。
- ②「消えた年金問題」は国の責任で、人残らず一日も早く解決すること。
- ③年金制度にかかわる当面の改善要求(別紙省略)を実現すること。
- ④国連社会権規約委員会への政府報告書の年金にかかわる部分の内容を明らかにすること。

神奈川デーです。皆さん多数が参加して、後期医療制度の中止・撤回を勝ち取りましょう。来年は必ず消費税増税提案が待っています。この制度撤回の成否が今後の国会運営に大きな影響を与え、私たちの暮らしに直結しています。(竹中健治副委員長)



## なくせ! 貧困・ワーキングプア 3・2 春の県民大集会

3月2日、横浜公園で「なくせ! 貧困・ワーキングプア、3・2春の県民大集会」(同実行委員会主催)が開かれ、労働組合、民主団体など2500人が結集しました。

年金者組合神奈川県本部も180人が参加。各支部の黄色い幟旗が特に目立ちました。

ステージでは相鉄労組の本間秀明委員長が「非正規労働者の存在は許せないと連帯の挨拶のほか、年金者組合の「高齢者は死ぬというのか」との怒りのパフォーマンスに、会場いっぱい大きな共感の拍手が寄せられました。

## 誕生会が喜ばれます

### 県女性の会が幹事会

県本部女性の会第2回幹事会が2月22日、平沼レストハウスで開かれ、21支部38人が参加。まだ会が出来ていない大和綾瀬支部の出席に、歓迎の拍手が送られました。

松川会長から「今年のは第9回さわやか女性のつどい開催の年です。春の仲間ふやしは女性パワーで各支部目標を達成して定員千人の会場「中原エポック」を満員にしたい。県本部9千人の仲間にしていくには、女性ならではの持味と絆を生かした、温かみのあるサークルも喜ばれ、退会をとどま

5月の前進座観劇会 国立劇場大劇場 原作・新田次郎

# 怒る富士

1等席:7,200円・2等席:3,000円・3等席:2,000円

とき 5月23日(金)11時30分開演

お誘い合わせてご参加を。

## 神奈川年金者文芸

(川柳)

旭支部 本間鈍根花  
離壇と笑顔で孫のメール下る  
彼岸花一人侘しく墓参り  
旭支部 毛利やすひこ  
米国漁船なら気を付けたイージス艦  
冷凍食産地確かめ喚いでみる  
市バス撤退余った人バスどうしてる  
横須賀支部 山田 良夫  
大国の原子空母に立つ市民  
ほかほかとかの娘にも似る路のとう

(俳句)

川崎麻生支部 阿部 和子  
ひな飾り孫も座してや雛に成る  
昼の月はじめて見るや孫の声  
横須賀支部 吉田 一夫  
野仏の雑居慰さむ春日かな  
春昼や路傍に雉の急ぎ足  
天皇のうつら地蔵かうらなる  
平塚支部 坪井 稔恭  
朝まだき霜踏む音の通り過ぎ  
平塚支部 露木 茂子  
子報はずれ雨の朝や路のとう  
平塚支部 寺田 公明  
配達朝の朝の小荷物雪匂う

活動を進めていくのが「カギ」とのお話に引き込まれて、皆さんも納得の様子が伝わってきました。

主な議題は「さわやか女性のつどい」の実行委員の選出で、川崎の各支部から1人、横浜支部協3人、横須賀・三浦1人、県北2人が選出され、県本部女性役員合わせて26人の構成となりました。実行委員会は3月からスタートしました。

活動の交流では、誕生会に絵手紙、小物、鉢花を届けたり、3ヵ月に1回の誕生会を開いてどれほど喜ばれ、退会をとどま

た例が紹介されました。麻生支部が老人ホームに入所した人を誕生会に車で送迎し「年金者組合ってあたたかくていいね」と感謝された話に、組合員とのつながりに思案していた支部も「誕生会ならうちも出来る」と嬉しい発言も。

秦野支部は再開総会を2月26日に開いて盛況。港南支部は「ひなの会」が6周年を迎え、1日かけてゆつくり開く予定。泉支部は困難を克服して「春を呼ぶ集い」を計画など、元気をもらったり、あげたりの大切な時間でした。最後は減税音頭を元気いっぱい踊って幕となりました。

(事務局・原 理代)

## 労働共済に加入しましょう

労働共済は、組合活動の1つです。民間の生命保険や損害保険と違い、労働共済は営利(利益)を目的としていないので、安い掛け金で大きな保障が得られます。

民間での生保や損保は、高い保険料の76%がTVのCMや新聞の広告費用、本社や支社などのビル維持、管理等に経費として使われています。

驚くべきことに民間の生保、損保で不払い問題が次々に判明しました。2005年2月に発覚した明治安田生保による「保険金不払い事件」を発端として、2006年11月現在で、生保、損保50数社で約274億円にのぼる「保険金の不払い」があったことが判明しました。この問題の根本には、「利益第一、顧客軽視」という民間保険会社の体質があります。

労働共済は、「働くものの助けあい」。もうける必要はありません。利益を目的としていないので、掛け金の70%を「保障」にあてることが出来ます。それには、日常の事務処理も私たち組合が行い、莫大な「経費」をかけた加入宣伝などをせず、経費を出るだけ最小限に抑え、「掛け金」を安く設定しています。

年金者組合の共済給付率は非常に高くなっています。

私たちが安心して組合活動を行ううえで、労働共済は重要な役割を果たしています。各支部単位で共済を立ち上げ、組合活動の輪を大きく広げましょう。

年金者組合労働共済は、大きく分けて①組織加入共済、②個人加入共済があります。

